

## 屋根用 1液弱溶剤形シリコン樹脂塗料

# マイルド シリコンルーフ

マイルドシリコンルーフは、屋根用1液弱溶剤形シリコン樹脂塗料です。

1液弱溶剤タイプのため、作業性・乾燥性に優れ、臭気もマイルドです。またシリコン樹脂系のため、1液タイプながら耐候性・耐久性に優れ、手軽に鋼板屋根やスレート屋根の塗替えが可能な塗料です。

### 特長

- ① 1液タイプのため作業性に優れます。
- ② 弱溶剤タイプのため臭気がマイルドです。
- ③ 乾燥性に優れます。
- ④ 1液シリコン樹脂系のため、耐久性に優れます。
- ⑤ 鉛クロムフリーです。



### 用途・適用下地

金属屋根、トタン屋根等各種屋根材の塗替え用  
窯業屋根、住宅屋根用化粧スレート、波形スレート等の塗替え用

### 標準塗装仕様

鋼板屋根、トタン屋根、棟板金 塗替え

工程	塗料名 (希釈剤)	希釈率 (%)	標準使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	塗装間隔 (20℃)	塗装方法
下地調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 脆弱塗膜、発錆部位はワイヤブラシ等で除去する。</li> <li>■ ごみ、ほこり、汚れ、かび、藻類等の付物は取り除く。 (10MPa程度の高圧水洗推奨。高圧水洗できない場合は、ホースで水を流しながら金属ワイヤブラシ等を用いて入念に清掃する。)</li> <li>■ 油分が付着している場合は脱脂処理を行う。</li> <li>■ 水洗後は十分に乾燥させる。</li> <li>■ 下地の劣化が進んでいる場合、必要であれば屋根材自体の張替え・補修を行う。</li> <li>■ 健全な塗膜は、目粗しを行う。</li> </ul>					
タッチアップ(発錆部)	クイックエポプライマーⅡ(塗料用シンナー A)	5~10	0.10~0.13	1	3時間~7日	はけ・ローラー
下塗り	クイックエポプライマーⅡ(塗料用シンナー A)	5~10	0.10~0.13	1	3時間~7日	はけ・ローラー
上塗り	マイルドシリコンルーフ (塗料用シンナー A)	0~15	0.12~0.15	2	3時間~7日	はけ・ローラー

\* より高い防錆力を要求される場合はタッチアップ及び下塗に「シントーハヤサエポプライマー」をご使用ください。

\* 被塗物の形状や、塗装方法によって使用量は増減することがあります。

住宅化粧スレート屋根、波形スレート屋根 塗替え

工程	塗料名 (希釈剤)	希釈率 (%)	標準使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数	塗装間隔 (20℃)	塗装方法
下地調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ごみ、ほこり、汚れ、かび、藻類等の付着物は取り除く。 (10MPa程度の高圧水洗推奨。高圧水洗できない場合は、ホースで水を流しながらワイヤブラシ等を用いて入念に清掃する。)</li> <li>■ 水洗後は十分に乾燥させる。</li> <li>■ 旧塗膜がある場合、脆弱な塗膜を入念に取り除く。下地の劣化が進んでいる場合、必要であれば屋根材自体の張替え・補修を行う。</li> <li>■ 健全な塗膜は、目粗しを行う。</li> </ul>					
下塗り	浸透性マイルドエポシーラー	無希釈	0.10~0.15	1~2*	16時間~7日	はけ・ローラー
上塗り	マイルドシリコンルーフ(塗料用シンナー A)	0~15	0.12~0.15	2	3時間~7日	はけ・ローラー

\* 下地の吸い込みが著しい場合は、下塗の塗回数を増やしてください。(被塗面がうっすら濡れ色になるまで)

\* 被塗物の形状や、塗装方法によって使用量は増減することがあります。

商品名	荷姿	色相		塗装面積
マイルドシリコンルーフ	15kg	標準色(10色) サニーレッド・ブラウン・コーヒー ブラウン・ナスコン・カカオブラウン・ サンドベージュ・グリーン・セルリアン ブルー・ライトブルー・ニューグレー	調色 有機系調色 無機系調色	100~125㎡/15kg缶/1回塗

各標準色の色相につきましては「トタンルーフィングシリーズ ポケット色見本帳」を御参照願います。

### ご使用上の注意事項

#### ■調合

1. 塗料開缶は原則として使用する直前に行い、開缶したものはその日のうちに使用するよう心がけてください。(マイルドシリコンルーフは空気中の水分と反応して塗膜を形成します。開缶後はできるだけ早く使い切るようにしてください。反応してゲル化することがあります。)
2. 開缶後は放置せず、直ちに密栓するようにしてください。
3. 塗料を使用する前に電動攪拌機等を用いて十分攪拌を行い均一な状態にしてください。
4. 下塗りに2液形を用いる際は、必ず主剤・硬化剤の比率を守り計量混合してください。正しい比率でない場合、硬化不良などの不具合の原因となります。
5. 混合後は直ちに塗装してください。混合後、使用可能時間を過ぎた塗料を使用すると塗膜性能低下の可能性がありますので、規定時間内に使用してください。
6. 他品種、他品名の塗料との混合は厳禁です。
7. 希釈剤は弊社指定の希釈剤を使用し、希釈量は規定量内で攪拌機を用いて十分に攪拌してご使用ください。
8. 希釈割合や使用量は塗装方法、施工方法、施工条件によって異なります。事前に試し塗をして確認してください。

#### ■塗装

1. 水洗時は、上から下へ水を流して洗浄してください。下方向から行くと、水が屋根材裏面に回り乾燥に時間が要します。
2. 水洗後は十分に乾燥させて、1日以上あけてから塗装を行ってください。
3. 塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上および換気が不十分でなく結露が考えられる場合は塗装を避けてください。
4. 強風時や降雨、降雪が予想される場合は、塗装を避けてください。
5. 被塗面温度が高温の場合は、塗装を避けてください。作業性不良、仕上がりに不具合のおそれがあります。
6. 昼夜の温度差が大きい時期は、結露による艶引け等の不具合が発生するおそれがあるため、塗装作業は午前10時から午後3時頃までの間で行ってください。
7. パッキンやゴム、プラスチック等の可塑剤を含むものと接触する部位への塗装は避けてください。可塑剤移行による塗膜の汚染、剥離、割れ等の不具合を生じる場合があります。
8. 平板スレート屋根材張り合わせ部は隙間(雨水の逃げ道)があることを確認してください。屋根材が密着している場合は皮すき、スクレーパー等で縁切りを行ってください。
9. 屋根材形状で凸部になっている箇所や、金属屋根材の継ぎ目、はげ部などは膜が薄くなりやすいため先行塗りをし、乾燥後に全面塗装を行ってください。
10. 積雪の荷重が最も受けやすい軒先の部分、瓦葺の凸部には擦り付けるように増し塗りを行うと、より長持ちします。
11. 新しい金属光沢のあるトタン板への塗装は、6ヶ月以上暴露して金属光沢が減少してから塗装してください。または、表面を脱脂して下塗りにガルバリック#300(2液形変性エポキシ樹脂塗料)を用いて塗装してください。
12. 金属屋根材の発錆がかなり進行している場合は、下塗りにシントーハヤブサイエポプライマー(2液形変性エポキシ樹脂塗料)を用いて塗装してください。
13. 塩ビ被膜鋼板への塗装は避けてください。また焼き付け素鋼板への塗装は別途ご相談ください。
14. 旧塗膜が活膜(艶がある状態)の場合は、サンドペーパー等で目粗しをしてください。

15. 旧塗膜の種類や劣化状態によっては、溶剤等の影響により旧塗膜をおかし、ちぢみ、再溶解等の異常が発生することがありますので、試し塗り等でご確認の上、本施工を行ってください。
16. 塗装工程は、既定の塗装間隔を守って、十分に乾燥させてから塗り重ねてください。
17. ローラー塗装の場合、ローラー目を同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により色相、艶感が異なってみえることがあります。
18. はけとローラーによる塗装方法によって、仕上がり感(色相、肌感)に差が出る場合があります。はけ塗り部分は希釈を少なくして塗装してください。
19. きず、汚れなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料の控えを取り置き、同一塗料ロット、同一塗装方法で、必要最低限の範囲で塗装してください。
20. 弱溶剤形の塗料ですので、換気口、空気取入れ口などから揮発した溶剤が室内に入り込まない様に適切な処置をしてください。
21. 塗装による臭気で、近隣に迷惑をかける場合がありますので、十分に配慮してください。
22. 飛散防止の対策、養生を行ってください。
23. 塗装中および塗料の取り扱いには必要な保護具(帽子、ヘルメット、保護メガネ、マスク、手袋など)を使用し、身体に付着しないよう注意してください。
24. 吸入に関する危険物有害性の表示がある塗料を塗装する場合は、局所排気装置などを設置し、作業時には有機ガス用の防毒マスクやエアラインマスクなどを着用して作業を行ってください。
25. 塗装器具の洗浄にはラッカーシンナーをご使用ください。

#### ■緊急時の対応

1. 目に入ったときには、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
2. 皮膚に付着したときには、多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、出来るだけ早く医師の診察を受けてください。
3. 蒸気、ガス等を吸入した場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
4. 飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
5. 容器からこぼれた場合は布でふき取り、その布は水に浸した状態で容器に保管してください。
6. 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。

#### ■廃棄

1. 使用済みの塗料缶や塗料が付着したウエスや残塗料を廃棄する場合は、関連法規に従って産業廃棄物として廃棄してください。(河川や土壌等、環境汚染になる場所へ廃棄しないでください。)

#### ■保管

1. 残塗料は密封して冷暗所に保管してください。
2. 子供の手の届かない場所に保管してください。
3. 塗料の保管は関連法規を遵守してください。
4. 容器はつり上げないでください。

※ 安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)を参照してください。

※ 必ず各塗料の個別カタログに記載している注意事項をご確認ください。

※ ご不明な点に関しましては、弊社問い合わせ先までご連絡願います。



本社 〒661-8511兵庫県尼崎市南塚口町六丁目10番73号  
☎(06)6426-3355(代) FAX(06)6429-6188(代)

#### 製品に関するお問い合わせ

北海道 ☎(0123)32-0431 FAX(0123)34-6199  
東北 ☎(022)285-7915 FAX(022)285-7813  
東京 ☎(03)5690-0544 FAX(03)5690-0553  
静岡 ☎(054)245-0135 FAX(054)247-4091

北陸 ☎(076)262-1305 FAX(076)262-1315  
名古屋 ☎(052)612-0293 FAX(052)612-0318  
大阪 ☎(06)6426-3763 FAX(06)6429-6268  
中国 ☎(082)264-6822 FAX(082)264-6821

四国 ☎(087)841-1251 FAX(087)843-3108  
九州 ☎(092)472-2222 FAX(092)473-5777  
https://www.shintopaint.co.jp/

本カタログの内容・仕様等について予告なく変更することがあります。ご了承ください。